THE WOMAN'S WEEKLY

第貳巻　第四十四號

毎週金曜日發行

大正五年十月二十七日發行

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

定價一部四錢五厘

郵送料五厘

本號目次

□婦人の政談傍聽禁止につき久保田内務次官と語る……小橋三四子

□時事週評……

□女生徒の倫理觀と宗敎觀……横山雅男

□一人一評「上村松園」……エム、ケイ

□貞操の觀念を醒す爲に……尼崎行雄

□文展素人評

△日本畫……清子

△洋畫と彫刻……民子

□ペストの癒った花嫁の今日

此頃……民子

□立太子式の日家庭の小宴の卓上に……櫻井ちか子

□其の日の献立……同前

□頭腦の經濟法(一)……薄田斬雲

□時事……編輯室より

□自大正四年十一月至同五年十月目次……

婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

権威ある
化粧料は

高貴
御料

品位ある
淑女を作る

過酸化水素と他の美顔原料數種を化學的に化合させて作つた白美衞生の美容御化粧の素です。

本舗

東京赤坂溜池
オキシナー商會
電話新橋三六二六
振替東京三四〇〇九

使へば使ふ程、眞底から本當に色を白くし、キメを細やかに、素顔の艶を増しニキビを癒す美顔料

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人の政談傍聽禁止につき

再び要路の人の意見を叩く

久保田內務次官と記者

降り續いた秋雨もすつかり上つた過る土曜、爽かに晴れ渡つた朝の氣を、胸一ぱいに吸ひ乍ら、私は大手町の內務省應接間に、久保田內務次官の登省をお待ちして居りました。婦人の政談傍聽禁止に就いて、前號掲載の丸山保安部長に續いて、其の御意見を承りたかつたからです。十時と覺しき頃「此方へ」と導かれて、次官の室に參りました。堆き書類を前に、大きな役所の印を手にした次官にやをら來意を告げますと、

* * *

次官「政談といふ事が、必ずしもよい政治の智識を與へる事にはなりませぬ。既に婦人に議會の傍聽も許してあれば、書いた物でも自由に學べる事でもあるから、それで政治の知識を受くるには差支へなからうと思ひます。殊に家を治むべき婦人に政談迄を聽かせるといふ事は、害あつて益の尠いとであらうと思はれます」

記者「どういふ害が起りませうか。」

次官「考へもあり、しつかりした婦人にとつては差支へないかも知れませぬが、兎角その爲めに政治熱が女達の心を唆つて、空騷ぎを好むやうになりはしなからうかと思はれます。今年は議員選擧の際の婦人の戸別訪問といふ事も、大分問題になつたが、これは餘り弊害はなからうといふことになりました。まあそれ以上、今の處婦人に政談を聽かせる事なぞは無用でせうね」

* * *

記者「こういふ問題は、或は藪を突いて蛇を出すやうに、婦人が政治運動を始めては大變と、却つて識者の忌彈を招くやうになるかも知れません。然しまだ幼い子供だと思つて居ると、いつの間にか一人前の人間に生ひ立つて居るやうに、婦人には政治の知識等は無用だと思つて居られる間に、いつか必要な時期に達して居るかも知れません。遲かれ早かれ禁止が解かれるものとすれば、今日もはや要求のある事をお耳に入れたいのでございます。」

次官「止むを得なければ、禁止が解かれもしませうが、解かれる事が必ずしも理想ではありません」

記者「私はもつと婦人が社會の事も、政治の事も知るやうに導かれた方が、其の人も、夫も子も幸福であるやうに思はれます。今のやうに家庭家庭と云つて、狹い天地にのみ立籠りますと、いかにも人間が單純な面白味のない者になつて終ひさうです。勿論政談傍聽を許された上は政治熱にうかさるゝやうな女がないとも限りませぬが、それは男子でも同じにある弊害と存じます。兎に角もし今禁止を解かれ度いと思へば、どういふ方法をとつたら、よいのでございませう」

次官「先づ當分は方法もありますまいね、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一般の進むのを待より外ありますまい」

＊　＊　＊

記者「これはお話が違ひますが、次官の奥樣は、この間各婦人會の合同をお企てになつたのではございませんでしたか」

次官「あれは全く新聞が虚構を傳へたもので、事實は何もありません」

記者「私は大層結構な事と存じて、私の紙上でその當時意見も書いた程でした。何しろ彼方にも此方にも婦人會が勃興致しましたに就ては、何か婦人方の要求がありましたのでせうから、其の要求の上に一つ一つの會が堅く結ばれて發達して行く事も大切なれば、また一朝事ある時には、其の目的の爲めに一致するといふ事が、婦人にも必要になつて參りました。然るにさういふ事を深窓に居らるゝ奥樣方がお企てになる程に、婦人にも要求が湧いて參つたのかと嬉しかつたのでございます。御説の通り時機の問題と致しましても、やがて其の時機は參りませう」

＊　＊　＊

今日は土曜の殊に午前中の短い時間に山なす事務を控へて居られる次官が、私にこれ丈けを言はして下すつた事も、尠なからぬ寛大な待遇と、厚く禮を述べて歸りました。澄み切つた高い空を仰いで私は、廣やかな未來が其處に展開して居るやうに勢ひ付けられました。（三四子）

時事週評

□皇后陛下女高師行啓

別項記載の通り、我が皇后陛下には、女子教育奬勵の思召を以て、廿三日お茶の水女子高等師範學校に行啓遊ばされました。畏くも陛下には二十五年の昔、同校幼稚園に御通學遊ばされし御緣故もて、當時の保姆等に破格の拜謁をさへ賜ひました。やがて出でゝ全國の女子の教導に當るべき幾百の生徒等は、御美德をまの邊り拜し奉り、更らに忠誠を勵む事となりませう。

□澤柳博士小學校長となる

明春設立の成城小學は其校長として前京都及び東北帝國大學の總長たり、前文部次官にして、現に帝國教育會長、貴族院議員の榮職にある文學博士澤柳政太郎氏を迎ふる事となつたと新紙は傳へました。其の小學校の教育は、如何なる抱負の下に新設せらるゝかは、未だ同博士の意見を聞くことは出來ませんが、博士のこの擧が、小學教育の如何に重大なる責任あるか、此の時代に天才は既に延ばされ、品性の基は造らるゝものにして、其の教育者の資格も敢へて大學教授に譲らざる蘊蓄を要するものなることを警告するに似て居ります。私共はこの事が單に噂に止らざらんことを望む者であります。

二

□戊申倶樂部の發展計畫

鳩山春子女史の會長たる同會は、毎月例會を催して名士の講演を乞ひ、婦人の知識涵養に務めて居られましたが、今回新らたに生産的方面を奬勵し、併せて職業紹介等を營んで、廣く婦人の便宜を計るとの事であります。從來多くの婦人團體が會員の親睦を計るとか、一時的の慈善事業を營むとかに止つて、永久の性質ある事業を疎かにして居られましたが、戊申倶樂部が、早く此處に新生面を開かれた事は、喜ばしい事であります。

□女學生の思想

別項女生徒の倫理觀と宗教觀の講演ありし兒童學會の席上に於て、高島平三郎氏は女學生の思想が、いかにも因襲に捉はれ、注入の儘を反射して居る樣を慨嘆せられ、我が國の教育は根本より一轉化しなくてはならぬと說かれましたのは、記者も亦同感に堪へぬことであります。女子の美德と云へば溫順、惡德と云へば嫉妬、其の幸福と云へば家庭圓滿と紋切形のやうに云ひますが、果してそれが十六七の女學生達の正直な告白でありませうか。もしさうすれば、我が女學生は、未だ人間といふ自覺の無い内に、早く女といふ鑄型に容れられて居ることを悲しむものであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女生徒の倫理觀と宗教觀

統計上より觀たる

横山雅男

□統計は多數より得る程正し

私は久しい間統計局に在つて、年々男女の生れる數の統計を見るが、其の數は女百に對する男百〇五で、多少の異同はあつても、一下るか一上るかで、百〇五のものが、百十と迄は決して差異を生せず、殆ど活版に刷つたやうに正しいものである。これは我が國五千四百萬の人口から得た統計であるが、世界の人類を合すれば、更らに男女の數は平均して來るので、地球上には男女は殆ど同數であると云ひ得るのである。これを一家、一族、一町村に見ると、男斗り、女斗りといふ家も稀らしからぬことで、丁度男女の子供を平均に持つて居る家は尠い。然るに此處に私が述べやうとする女學生の倫理觀と宗教觀は、大阪に於ける清水谷高等女學校に於て、僅かに五百名の生徒に就て調査したもので、其の校風、土地の狀況等の感化もあれば、これを以て一般女學生のものと云ふ事は、勿論出來ない。只、今後この種の統計が、諸方に行はれて、統計上から、一般の傾向を觀察する事が出來るやうに致し度いと思ふ其の參考に提供した迄である。左に掲げた統計は、約三十分間に倫理十問宗教三問につき極めて自由に答へさしたものである。

□倫理に對する觀念

▲第一問　は女に最も必要なる德義は何かと云ふのであるが、内一學年より四學年を通して五割七分迄は溫順を第一位に擧げ、此に節操、行儀、慈善、誠實、齊家、雜、不明といふ順序であつた。

▲第二問　は女子に最も不德と思ふものと云ふので、全生徒の二割は嫉妬を第一位に、傲慢、不節操、多辯、不誠實、粗野、雜、不明といふのであつた。

▲第三問　は女の最大なる長所は何といふに對して、綿密を冒頭に、溫順、慈愛、優美といふ順になつて居る。

▲第四問　は女子の最も大なる性質の缺點と云ふのに對して、柔弱、嫉妬、狹量、過敏、多辯、淺慮、虚榮となつて居る。

▲第五問　は女の第一に務むべき事業は何かといふのに對して、五割八分の女生は齊家を第一に、二割二分の女生は育兒と云つて居るので、齊家、育兒を重要なる女子の事業として居る者は八割であるのは、さもあるべき事である。裁縫、慈善、其の他のものは、僅かに擧げられて居つた。裁縫等は齊家の中に當然含まれたものとして尠いのか、實際裁縫を女生徒が重んじなくなつたのか、注意を要する點である。

▲第六問　女の最も適當なる仕事は何かといふに對して、裁縫を第一位に、育兒家政、技藝、看護となつて居る。

▲第七問　女に最も幸福なる境遇は何かといふに對して圓滿なる家庭といふが五割一分を占め、次で健康、父母長命、學藝上達、良性具備、良緣、良子女を擧ぐといふのである。

▲第八問　は女の最も不幸なる境遇は何

三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かといふに對し、一家の不和を第一に、早く兩親を失ふ事、早く夫に別るゝ事、虛弱、獨身生活、無教育、世人の擯斥を受くる事など云ふのであつた。男子ならば、家庭の不和の爲めに自殺をしたといふ事は聞かないが女子には家庭不和の爲め自殺する者多く、殊にそれが廿歳以下の婦人に多い處を見れば、これは一般の傾向と符合した事を申さねばならぬ。

▲**第九問** は世間で最も褒むべき事は何かといふのであつた。これは慈善を第一位に忠孝、公益、誠實、愛國、節操といふので、此處に公益等が入るやうになつたのは注意すべき事である。

▲**第十問** は世間にて最も擯斥を受くべき事は何かといふに對し、不誠實、盗賊其他不忠孝、不品行、貪慾、邪慳、非愛國、惡口等である。

四

□宗教に對する觀念

次に宗教に對しては、

▲**第一問** 各自の信仰する宗教は何か

	一年	二年	三年	四年	平均
佛教	四六	三八	四四	三四	四一
神道	二〇	一八	一九	二一	一九
無宗教	七	一七	九	二八	一五
天滿宮	一一	一一	八	五	九
基督教	二	六	九	七	六
雜	七	四	一〇	二	六

これを以て見ると佛教は學年を追ふて、規則正しく減じ、神道と無宗教と基督教とは次第に増す傾向を持つて居る。

▲**第二問** 人の死したる場合に靈魂はどうなるか、消滅するといふ者三割五分永存二割五分、淨土天國に行くといふ者之れに次ぎ、輪廻といふ者、室內、墓の下に在りといふ者もあつた。

▲**第三問** 神佛は如何なる靈能あるかといふに對して、靈能有りといふ者七割九分、無しといふ者一割五分、不明二割八分であつた。

この種の統計がなほ多數寄れば、更らに明らかに、女學生が現今如何なる狀態にあり、今後如何に變化するかといふ大勢を窺ふ事が出來るのである。

（東京兒童學會例會講演の大要）

（一人一評）

上村松園

▲しつとりと軟かい山水と、千年の舊都の美はしい歷史を持つ京都の地は、藝術を育くむに、適はしき處である。我が女流畫家の中、一頭地を抜いて、優に一流の大家として推され、今年文展に推薦の榮譽を擔ふた上村松園女史も、この京都が生んだ天才の一人である。

▲女史の家は京都竹屋町に葉茶屋を營んで居られる。幼き頃から繪筆持つことを好んだ女史は、早く鈴木松年畫伯の門に學ぶ事を許されたが、中頃故あつて竹内栖鳳氏を師とするに至つた。霜白くおけるあした栖鳳氏の門の扉に背を持たせて、その開くを待つ女史の姿を、近隣の人は氣の毒と思ひ「お叩きになつたら如何ですか」と云つても、「いえ、私が早過ぎるのですから、こうしてお起きを待ちませう」と。女史の修業振りはその頃、近隣の語り草の一つであつた。しかも盛名を致した今日も女史の熱心は毫しも萎むとなく、如何なる美術展覽會にも、女史の姿を見かけぬことはない。そして手にはいつも小さい手帳を持つて「これは」と思ふ構圖を、一々見逃さずに書きとめて居られる。

▲女史は敢て美しい方ではないが、一種獨特の櫛卷を品よく結んで、ぽつと頰を繪刷毛で刷いたやうな化粧に云ひ知れぬ趣を見せて居られる。そして四十幾歲の今日迄、目ざす道を傍目もふらずに歩んで來られ、遂に家庭をも營まずに終はれたが、他の女ならば凋落の氣運に向ふ年頃に、愈よその妙技に光りを加へ今や洋々として其の前途の展開せるを見るは、獨り女史のみの喜びではなく、我が藝術界の爲めに祝賀すべきことゝ申さねばならぬ。

（エム、ケイ）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貞操觀念を醒す爲に

嫡出子の絕對の權利主張

尾崎行雄

□一層有効の社會制裁

近頃になつて、殊に貞操問題が喧しく論議されるやうになつて來たのは、確かに注目に値することである。が、更に此の問題が一派の婦人達の手に徹底的に解決を急がれやうとしてをるのも、亦注意を惹くのである。

考へれば女子に姦通の罪を認めるやうに、男子にも正式に、法律上に同等の罪を認めるやうに、法規の改正を要求するの聲を聞くやうになつたのも、既に年久しいことである。私は個人として、勿論女子に姦通の非なるが如く、男子にも此の罪惡を許さるべきものでないと思ふ。併し法律上の改正よりも、更に有効の結果のある社會制裁の樹立が必要であると申したいのである。

□無邪氣な子供を害ふ周圍

我が國の人々は概して、學校を過信するの弊がありはせぬかと思ふ。私共の子供達は、決して家庭に於いて顰蹙すべきことを敎へられぬ。が、學校に於いて非常に恐るべき知識を加へられる。無邪氣の子供が何氣なく語つてをることを聞いて私共往々にして戰慄に堪へぬ事がある。

或時は『○○さんは女中さんの子ですつて』とか、或は『▽▽の附添の方は××樣の父親さまの何々ですつて……』とか云ふやうなことを聞かされることがある。私は此の子供に依つて、子供達の友人の身の上を聞く毎に、こゝに一個の社會制裁を樹立して、この無邪氣な子供を害ひつゝある雰圍氣を淨くすることは、私としては刻下の急務のやうに考へる。而して又此の事は、男女の貞操問題とも少からぬ交渉があるものである。

□嫡出子と庶子との區別

我が國に於いても女中、妾、その他妻ならぬ婦人との間に生れた庶子と正室との間に出來た嫡出子とは素より法律の上に區別はある。その權利も同一でないが、私の考へる處では、この際に法規の認めると否とを問ふことなく、社會が今一層に嚴かに庶出子と嫡出子との區別を明かに認めるやうにせねばならぬと思ふ。

更に詳細に申せば、嫡出子の權利を絕對に認めること——即ち庶子は嫡出子と同列に伍することの出來ぬやうにすることである。英國では、唯だ皇室を除く外は、決して庶子に嫡出子の權利を與へることがない。庶子は庶子として一生を終らねばならぬのである。

然るに我が國に於いては庶子は嫡出子と（法律上は兎に角）同等に伍してをる、而して庶子は容易に嫡出子の權利を獲得することが出來るのである。かう云ふことは一般的に注意されてゐない。が深く私共は考へねばならぬ、勿論子供には何の罪惡なく、咎めらるべきこともない。それ故に庶子を嫡出子と截然と區分すると云ふことは氣の毒でもあり、殘酷のやうである。が、この爲に我が國民に深甚の覺醒を與へることは、確かに事實であると思ふのである。（談）

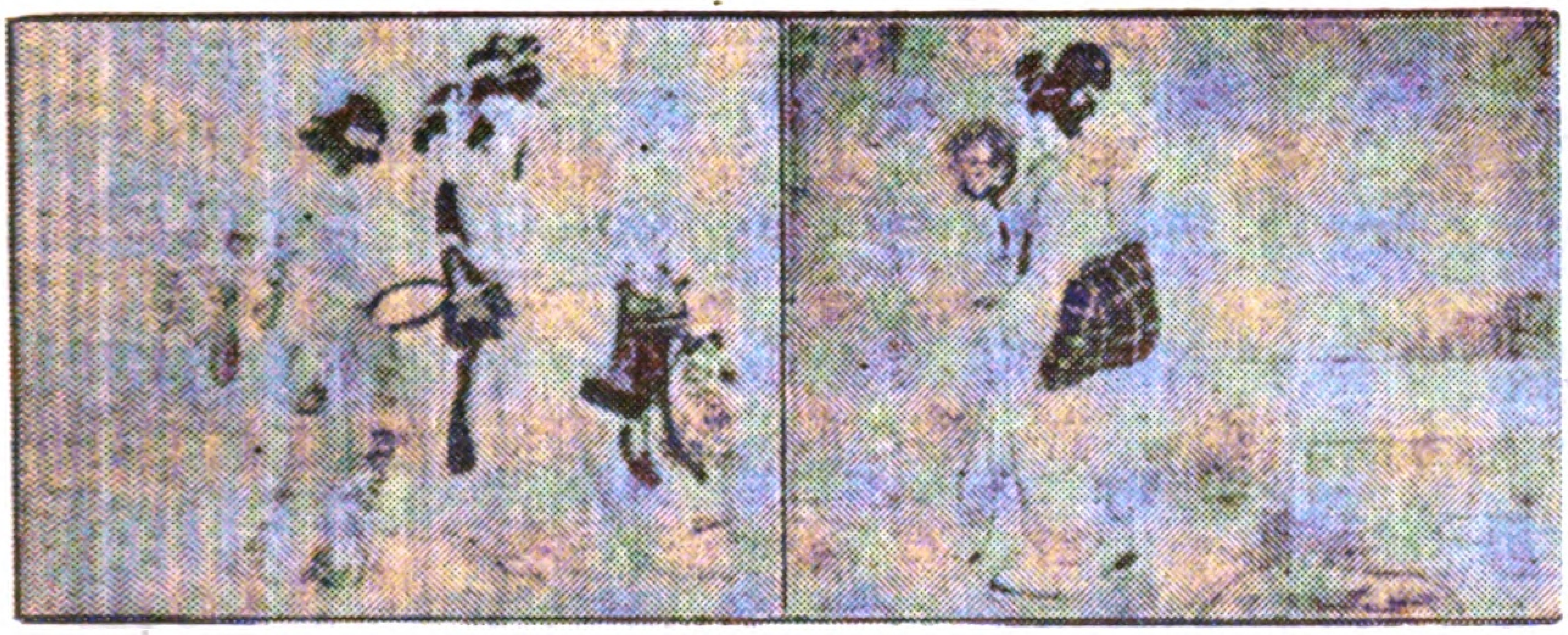
Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文展素人評

目に映つた儘に

□日本畫の部

□午前九時――堅く閉さゝれた門扉がやをら開かるれば、



月蝕の宵（上村松園女史筆）

絢爛な文展の會場は眼のあたりに擴げられた。燦爛たる紅燈の下に、あらゆる享樂を恣にしたる八人の唐美人に先づ足を引きとめられた。何れ劣らぬ美しの人の中に、個々の個性を心持よく表はして、統一を失はない處に作者の苦心が最も多かつたろうと思はれた。これが數年前「寂しき心の人々」を描いて、胸苦しい迄に觀者の心に暗い影を投げつけた鴨下晁湖氏の作品であるかと面白く眺められた。山本曉邦氏の「初夏」は滿洲の氣分がよく表はれ、村岡應東氏の「鷹狩」は、おちついて飽く迄も氣品を保ち、尚は畫面に沈滯の色を見せず。保間素堂氏の「綠蔭」は赤と青との強い色彩が氣なしに開いて居る眼を遠慮なしに射て眼をつぶり度い樣な感じを與へる。

□一つ〳〵の悉くが皆努力の結晶であつた。忠實な寫生畫が多かつた。伊藤小坡女史の「綴きもの」に一層そんな感じを強くした。そして作者の藝術觀を疑はずには居られ無かつた。松岡映丘氏の「室ぎみ」は評判の通りやつぱりよかつた。室津の遊君が、しと〳〵と降る五月雨の庭を眺め乍ら賴み甲斐無い人の上を半ばうらめし氣に追憶して居る態を氏獨特の筆をもつて高尚に描き出したもので、少しの嫌味無く、上村松園女史の「月蝕の宵」と共に、場內風俗畫の首位を占むべきものと見られた。やゝはなれた織田觀潮氏の作は「潮來出島のまこもの中にあやめ咲くとは……」と云ふ俗謠を思はせ、池田蕉園女史の「こぞの今日」は爛熳たる櫻花の一時に咲き揃ひたる如く、松園女史のそれに比すれば今一段の努力をと切に願はれた。夫君輝方氏の「夕立」は男から見た女性の美を表はして居るやうに思はれた。

□「あれは南洋か」と、云ふ聲に一寸驚かされて、後を見ると水上泰生氏の「ロッペン鳥」は寒い樺太の天地を我が物顏に誇つて居る。異境を寫す作者は、こんな處に迄も思ひがけない虐げのある事を思はれて氣の毒に思つた。小山榮達氏の「北國のさむらひ」尾竹氏兄弟の苦心の作一朝一夕にして評し去る事は出來ない。唯山元春擧氏の「山」松木楓湖氏の「怒濤の月」はよし描方が古くても、堅くても何かの感じを觀る人に持たせなくては置かない他の人に眞似る事の出來ない處があつて、やはり大家と云ふ叫びを禁ずる事が出來なかつた。（清子）

□洋畫彫刻の部

□第十九室が彫刻、第二十室から第二十三室迄が西洋畫で

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

去年のけふ　（池田蕉園女史筆）

あつた。私は自分の貧しい頭に刻まれた印象をかき綴る。
彫刻は陳列總點數四十七。小倉右一郎氏の『闇路の人々』建畠大夢氏の『絶望』は殊に光つて見えた。『絶望』は絶望し切つた人の表現の何處かに一點の生命の輝きが閃き出てゐるやうな感じを覺える作である。この他堀進二氏の『黄泉の阪』は全體として離れぐくな印象を與へる所はあつたが捨て難く、北村西望氏の『晩鐘』は可成り心を込めたものだと思つた。北村四海氏の『水のほとり』は快く、美しい之れも逸品の一つであらう。
口西洋畫は第二十室から初まる。まづ南薫造氏の『五境』が目を引く。極めて象徵的な宗敎的のものを氏獨特の明るい筆で描かれてゐる。夫れと並んでゐる齋藤與里氏の『收穫』は、沈んだ色彩ではあるが畫面の奥に強く人の心を引きつける何物かゞ潜んでゐるやうな思ひのする佳い作である。三宅克己氏の水彩畫、『夏景色』及び『夏の山』は何れも見飽かすこゝろ好い。表を流れてゐる綠の色は濡れたやうに水々しく光つてゐる。
第二十一室中川八郎氏の『上高地の夏』は自然界を己が家として旅から旅に移りゆく人でなければ捕へ難からうと思はれる眞に迫つた所のあるもの、中村彜氏の『田中舘博士の肖像』は肖像畫中の白眉と思はれた。五味清吉氏の『靜物』も捨て難い逸品であらう『木槿の花』、小室孝雄氏の岡田三郎助氏の『水浴の前』は遺憾なく若い女の曲線美が寫されてゐた。
第二十二室藤島武二氏の『靜』が何となく目を引く。虹の色は久しく私の心から消え去らない美しさであつた。黒田新氏の『御阪富士』は心を集中した影が見える。可成りに努力の作らしい。
最後の室第二十三室では和田英作氏の『あけちかし』が唯一つ、すべての上に浮いて光つて見えた。ほんのりと明け行く空のほの見える室に坐つて、燈をかき立てながら靜かに文よむ女をとり圍む光線のその美しさは嘆賞する許りである。特別室に納めてある熊岡美彦氏の問題となつた『裸體』は『水浴の前』に劣らぬものに思はれた。しかし之が問題を起したのかと思ふと不思議な心がする。終りに洋畫に當選した閨秀畫家の作、渡邊文子氏の『食後』、有馬さえ氏の『やすめる女』、井上よし子氏の『溫室の裏』は他の人のものに比べると未だ熟さない生な感じが多いけれど、生な感じのするだけ前途に廣い世界が展けてゐるやうで嬉しかつた。（民子）

七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ペストの癒つた

花嫁の今日此頃

可愛いゝお子さんを膝に語る

□婚禮の筵から避病院に

伊勢の四日市にペストが發生した――この一語を新聞で讀むと、私の心にはフト『婚禮の筵から避病院に』と曾つて傳へ聞いたことのある奇蹟のやうなことが浮びました。その當時の新聞には如何な風に書いてあつたのが忘れましたが、事實をかい摘んで言へば、或る新嫁が輿入れの夜から氣分惡しく、それが源でペストとなり、千代八千代を永き契りを祝ひ交した日から三日目には昏睡狀態となつて生死の境を放浪し、萬死の中に一生を得て二ケ月の後には再び溫かき新婿の手に歸つたと言ふ物語のやうな實話でございます。識者の間にすら一度罹れば再び生を得がたく思はれてゐる、この死の宣告文の言ひ渡しをうける思ひのするペスト病が全快したのさへ珍らしきものを、人間の一生の間に唯一度しかめぐり來ぬ筵の華やかな思ひ出のその宴の甘い空氣のまだ冷めぬ日から初まつたことを思ふと、如何にしても奇蹟としか思はれません。當時の花嫁であつた人白川けい子さん(二五)を日本橋區村松町十六番地にお訪ねすると、思ひ深げに長い睫をしばたゝいて此樣なことを語るのでした。

□己のが病ひを知らなかつた

『全くあの時の事を考へますとすべてが夢のやうに思はれます。輿入れをしたのが四月の十五日、そして十七日の朝には何だかいやにうそ寒くて、枕が上らないのでございますものね。そして廿日の午後三時頃に兩國の佐々木病院に入院し、翌日本所病院へ移されました。私は線ペストでした。移されると直ぐ血淸注射を施されたのでございますが、その頃は全く夢うつゝで、更らに入心地は覺えませんでした。本所病院に移されたのも私は唯佐々木病院の院内の、何處かであるとしか覺えず、二ケ月後の退院の少し以前に『もうすつかり春も暮れましたのね、龜井戸の藤は、美しくなつたのでせう。お蔭さまでまた見ることの出來る身體になりました。』と看護婦さんに申しますと看護婦さんが『龜井戸と此處とは夫れはお近いのでございますよ、もう少し經ちましたらば院長さんに願つてお越しなさいまし』と言ふので、兩國にゐるとのみ信じてゐる私には何のことやら少しも分らず、どうして龜井戸と近いのでせう、と不審がつて後で大笑ひを致した程でございました。勿論自分がペストであるなどゝ言ふことは殆ど最後まで悟らなかつたのでございます。その爲めであつたのか、注射後の經過は非常によくて、入院後十二三日するとお粥を頂けるやうになり、更らに二十日許り經つと御飯が頂けるやうになりました。その御飯を頂き初めました時の嬉しさ、夫れは皇太后陛下の御大葬の當日でございましたが――私はさながら飢ゑた犬のやうにむさぼり食べました。お粥の時は小さいお茶碗にたつた一つであつて、何時ももう少し欲し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いと思つたのが、御飯の時はクル〳〵した美味さうな御飯が大きな入れものに一杯這入つてゐたものですから……。卑しいとお笑ひ遊ばすな、思ふ存分に食べたいと願ふのがその頃の唯一の希望だつたのですから……。』とその人は此處まで言ふと息をつぐのでした。

□忘られぬ院長の御言葉

『忘れも致しません。』と一際聲に力を入れてその人は又續けました。『本所病院の院長さんが退院の日に仰有るには、あなたほど幸福な人はありませんよ、多くの患者の中から一人全快の歡びを得てお歸へりなさるんだから。しかし私も多くの患者の中から唯一人でもあなたを癒したことを思ふと誇らしいやうな、限りなき歡びを覺えます。と仰有つてお見送り下すつたあの日の光景でございます。半ば死に去つた私が再び良人に迎へられて病院の門をくゞり出た時の嬉しさ、之れも忘れ得ぬ歡びの時の一つでございます。ほんとに命拾ひをしたやうに思はれて、院長さまや其の他の方々を心に伏しをがみました。ほんとに私は幸福な女でございます。』

□日頃健康なりし賜

『夫れにつけても思ひ起されるのは患者達の日常でございます。同じ傳染病と言つてもペストは赤痢などゝ異つてどう致しやうもない病氣でございますから、手當をした以上は唯自然の經過を待つ許りでございます。ある人は烈しい熱のためにベットの上から狂い落つることもあります。ある人は故なく室中を狂ひ廻つて飛び歩いてゐる事もございます。叫ぶ、喚く、附添ひの人などは勿論ないから、音もなく更けた夜など、けたゝましい患者の夫れ等の聲が寂しく響いてくると、夫れは〳〵物凄い感じが致します。それから私の室は恰ど裏門と向ひ合つてゐましたので入院患者のある時も、冷たくなつて棺桶に這入つて出る時も、すつかり分りますので殊に哀れを覺えました。そして小使が棺桶の蓋に釘をうちつける音は今思つても胸をえぐられるやうな寂しさを覺えます。でも私は幸に丈夫になりましたから……。』と感慨に堪へ得ぬ色を面に浮べなさるのでした。今は誕生を過ぎた許りの坊ちやんをお膝の上にのせながら、奇蹟のやうなこの幸福を思ひ出しては歡んでゐられる。親しく診察された醫員達は平素健康であつた事と手當が早く屆いた事と、患者自身が何病であるかを自覺しなかつた事とに依るだらうと仰有つてゐます。

『十七日の朝初めてお醫者樣の診察をうける時、お客樣の手前もあるからせめて熱があつて呉れゝば宜いが、と思つてゐますと四十度二分あるとの事だつたので驚きましたの。私は熱が出たのも夫が初めてゞしたから』とけい子樣はお別れ際に仰有つて微笑なすつてゐました。(民子)

噂

▲竹内栖鳳畫伯が嘗て京の北山にフラリと一人で遊んで俄か雨に遇つた。濡れ鼠のやうになつて漸う驅け込んだのは山家の一軒茶屋であつた▲澁紙色の老爺は縄なふ手を止めて、澁茶を汲んで來て、退屈な時のよい相手といろ〳〵話し込んだ▲畫伯はお爺さんがすつかり氣に入つて終ひ、歸つて早速畫箋紙に一氣揮つて、書生をしてお爺さんの家に持たしてやつた。▲お爺さんは町に出た序に繪書きさんに貰つた畫を表具して置かう」と云つて京の表具師に持つて行つて、「これを五六十錢で表具しておくれ」と云つた、表具師が開いて見ると、栖鳳畫伯の素晴らしい出來榮えで「五百圓なら飛ぶ樣に賣るものだ、」と聞かれて、お爺さんは腰を抜かす程に驚喜したといふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

立太子式の日

家庭小宴の卓上に

手輕な裝飾のしかた

櫻井ちか子

口一二の參考

表だつた儀式の裝飾と異つて、一家團欒の爲めの食卓の裝飾等は、其の家庭々々で色々に趣向し、工夫して裝飾するのが却つて面白かろうと存じます。ですから此處には唯ほんの御參考迄に一つ二つお話して置く事に致します。立太子式は丁度菊の時分でございますから、菊花を裝飾の一部に加へる事は最も時期に適した方法の一つと思はれます。それは鉢なり盛花なりを食卓の大きさに從つて中央に一個又は二三個置くとか、又食卓掛が眞白でしたらば、處々に紅葉を散らすのも美しいものでございます。造花の紅葉は五錢で三十個位ゐございます。

口齒朶で書く文字

西洋等でよく致しますのは、祝賀の意味を表はした文字を齒朶で食卓一ぱいに書き表はして、あひ間〳〵に美しい草花を取り混へたり、又草花の鉢や挿花等を中央に置いたりする事でございますが、この方法も手輕くて面白いものでございます。又淡白したのでは花と青葉を互ひ異に、食卓の中央に置かれてある花鉢を圍むやうに、四角く二列位に並べるのも氣持ちのいゝものです。花の日會の菊と造花の紅葉をこんな風に並べるのも惡くは無さゝうです。

口長押の飾り

食卓以外の食堂の裝飾として普通の日本座敷では、長押によくクリスマスの時に致しますやうに、青檜葉に菊や紅葉をあしらつて掛けるやうに致します。

次に御注意して置き度いのは、花や紅葉を散らして置きました時に、必らずピンで一つ〳〵目立たないやうに止めてお

家庭お化粧 (10)

▼▼▼神聖な家庭の象徴▼▼▼

▼▼▼現代要求の化粧法▼▼▼

—有害の汚垢を落し—

—必要の潤澤を保つ—

皮膚の美しい健全の狀態は、皮脂の分泌によつて保たれるにも拘はらず、之がまた汚垢となつて皮膚の營養を妨げ、美しい色艶を消し、健全の狀態を破壞すことになりますのは、一にその必要の程度を超ゆるか、又は必要の程度に達しないかによつて分れるのでありますから、美しく健全なる皮膚を保ちますには、皮膚の色艶を美しく、營養を盛にする必要の潤澤を保たせ、營養を妨げ、美しい色艶を消し、健全を害する皮脂を去つて、始めて天然の皮膚を土臺から美しく健全にすることが出來るのであります。

故に、皮膚を洗ひ淸めますのは、此の有害な汚垢を落して、必要の潤澤を保持するのでありまして、單に皮膚を擦つて汚垢さへ落せばよいといふものではありません、古い皮脂が汚垢となつたのを落

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

置きになりませんと、切角の趣向も風が一寸吹けば全然こはされて終ひます。これ等は年頃の娘さんがある家では、實習の積りでお任せになるのもよく、又お子さん方に子供らしい意匠を考へさして、一寸大人が手傳ふといふ位にしたら、一層趣が加はりませう。

其の日の献立

櫻井ちか子

□吸ひもの　三葉と小鯛（料理法は普通の吸ひものと同樣ですから說明を略します。）

□向付　かじき鮪の酢のもの、

鮪を普通のお刺身のやうに作り、これを蒸して（少量ならば御飯蒸しでも蒸せます。）皿に取り料理菊につま大根（普通刺身の妻に用ひられてある細く切つた大根）おろし生姜又はわさびを付けます。酢は三杯酢で甘味を多く持たせたもの丶方が美味しく頂かれます。

□口取　梅花玉子、栗のきんとん、寄せもの。

梅花玉子（本誌第二卷第十號參照）

栗のきんとんは栗の皮を剝き澁皮をよく取つて、それを蔽ふ位の水を入れ、少し煮えた時砂糖を入れ、軟かくなりましたらば其のまゝ下して蒸して置きます。別に茹でた薩摩薯を裏漉にし、栗と同量の砂糖を加へて水で延ばし、お汁粉位の濃さにして掻き交ぜながら餡を煮る樣に煮詰めるのです。大抵煮詰つた頃、鹽少量を加へ、前の栗を汁と共に其の中に入れ、暫らく置いて鉢に移して冷します。生栗のない時でしたらば、勝栗をひやかして置いて用ひます。

寄せものは、寒天一本に水二合砂糖廿匁の割にて寒天を煮て裏漉し、別に長芋を茹で、裏漉にしたものと交ぜて一寸煮て寄せます。色を附け度い時には紅又は挽き茶等を用ひます。長芋が無い時には薩摩薯でもよろしい。

□燒肴　鯧の鹽燒き、杏の甘煮又は酢蓮と筆生姜。

鯧は普通の如うに鹽燒きにします。

杏の甘煮は乾杏をよく洗つて、半ば蔽ふ位の水で暫らく煮、軟かくなつた時砂糖を加へて汁の煮詰るまで煮るのです。

酢蓮は蓮の皮を厚目に剝き、眞中のよい部分だけを斜目に二分位の厚に切つて鹽水に浸けて置きます。暫時くしたら水洗ひして笊に揚げ、水氣の切れた頃、酢に砂糖と鹽少量を加へた汁の中で煮ます。

筆生姜は生姜の先きを丸く剝いて甘酢につけ、先きを一寸紅で染めて用ひます。

□甘煮　松茸と鷄肉。

醬油と味淋と砂糖を鹽梅した中で鷄肉を一寸煮て皿に取り、其の汁で適宜に切つた松茸を煮、煮え上りましたらば二つを一所にして盛ります。

□浸し物　小松菜、又はキヤベツ、摘み菜の浸し物に白胡麻（けしがあれば尚ほ宜し）を炒つて一寸掛けます。

其の他二三種の香物を添へましたらば澤山だろうと存じます。

して、新しい皮脂によつて、皮膚の潤澤を保ち、抵抗力を强め、彈力を與へ、滑澤にして艶々とした色を呈し健全で美しい皮膚とならしめねば、洗身の效はありませんから、かの汚垢を落すのみを主として、之に代ふるに營養を以てする作用のない洗料は、此の洗身料としての完全な効力を有したものではありません。

クラブ洗粉は此の有害となるべき汚垢を殘りなく落す力は强く、同時に必要なる皮膚の潤澤を保ち、營養を增すべき作用を備へた美身洗料として、理想的唯一の洗粉でありますから、使ふ度毎に皮膚は健全に、美しく、生々として艶やかな自然の美が發揮せられるのであります。

然るに洗料を以て、單に汚垢を落すものとのみ思つて、肝腎の洗つた後の皮膚の狀態を顧みないもの、多いのは、進步した衞生思想、科學思想と伴はない變態の現象ではあるまいかと考へられます、併し現代の智識階級の人々、さては現代的婦人にありましては、必ずこのクラブ洗粉に向つて、その要求の充足を期待せられつゝあることを信ずるのであります。

（廣告）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

頭腦の經濟法（一）

薄田斬雲

□適度は各人各様

戸の框は常住、戸が開閉されると、錆びず朽ちずに、最後迄役立つと言ふ如くに、人間の頭腦も、絶えず使用して居ると、黴が生へず古くもならないのでせう。

ですが、戸の框も餘り荒く使ふと折れたり碎けたりします。人間の頭腦も度を越えて烈しく使用すると、發狂したり馬鹿になつたりします。度を越えない事、即ち適度の使用法と云ふ事が第一緊要の問題です。併し適度と云ふ事は何事につけても甚だ難かしいので何處迄が適度であるかは各人の考量一つです。

□止まれぬ知識の必要

どうせ各人特有の適度ですから一般に當てはまる様な、頭腦の經濟法は發見されません、唯だ私の經驗丈け述べます。今日は雜駁な世の中で、神經質に氣を揉むと、居ても起つても居堪らなくなります手近い例で云ふと、毎日の新聞紙に廣告される出版物に見ても、其の標題は皆な一つも見遁すべからざる主要問題です。之を片つ端から一通覽する丈けでも大變な勞力で、腦が爲めに摺り減らされて了ひさうです。夫れでも知識の必要と云ふ事は止むに止まれぬ要求であるから、手當り次第一通りは目を通さなくてはなりません。さうしても適度な頭腦の經濟法を考へなくてはなりません。

□終夜夢見る氣持

先づ私の經驗を述べます、私は永年胃腸を惡しくて居るので、腦もひどく害されて居ると見え、變調と云ふ事は毫も感じないけれども、總體に腦力が衰へて居る事は直ちに感じます、毎夜睡眠中も、私は絶えず夢を見て居る様な氣持です。之は實際に於て、七時間も就寢中、のべつに活動寫眞でも見る様に夢を見て居る譯でもないでせうが、夜中幾度となく目が覺める場合、多くは夢から覺めるので、おや、今のは夢であつたかと思ふ。然うなると、自分の意識の有る時には、夢を見る次第で、爲めに、夜中一夜夢を見たと思ひ誤るのだらうと思ひます

□就寢前の勉强は一番毒

十二

夜、寢る前に、精を入れて書いたりすると、其夜は特別にはつきりした夢を見るのです。ぼんやりした夢は然程に感じませんがあり〳〵と文字を讀んだり、數字を數へたり、人間の顏を判然と見たりする夢は、覺めて後餘計に腦の疲勞、身體の倦怠を覺えます。そして其樣な晩は床に入つても氣が冴えて直ぐに眠れないし、朝は亦神經過敏になつて早く目が覺めて了ふのです。すると翌日はぼんやりして一向氣に勵みが無く、欠伸ばかり出て、何にも手に物が付きません。若し、こんな状態が何日も續くとなると、激烈なる眼病にもなるでせう。度を過ごしたと見たら、何うにか都合して、翌日は晝寢するなり、早く回復手當をするのが、一番安全です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□觀艦式行幸　天皇陛下には過る廿五日東京灣上に行はれし恒例觀艦式の爲に横須賀に行幸遊ばされました。

□皇后宮女子高師に行啓　秋晴れの二十三日　皇后陛下には千種典侍御陪乘隨員を從へさせられて、お茶の水なる東京女子高等師範學校に行啓遊ばされました。嘗て九條公の姫君にましませし頃の一年有半を、此校の幼稚園に御通學遊ばされしより二十五年、久しく御懷しみ給ひたる同校に成らせられ、中川校長の御先導にて、明治記念室、生徒成績品、實地授業、御前課業演習及び體操等御熱心に御覽あり、午後三時四十分還啓遊ばされました。當日は參校の勅任官以上及び御通學當時の保姆下田なつ子、瀨川すゞ子、吉田幸子女史等に拜謁を給ひ、尙ほ御土産として各員生徒一同に式部職樂師の樂手十番の奏樂敬聽を許させ給ひました。又左記の御下賜品を賜りました。

御袴地一着　中川校長へ
御菓子　校長並に職員一同へ
御菓子料金五百圓　職員生徒兒童へ

□臨時神宮祭主親任　神宮祭主久邇宮殿下は二條恒子の方逝去につき御服喪にあらせられ、臨時祭主に任ぜらるべき、各宮殿下も悉く同く御忌服中にて唯山階宮武彥王殿下御兄弟の内にて御辭退遊ばさる筈ですが、未だ未成年の故を以て、遂に公爵中の親任官たる鷹司熙通氏臨時派任せらるゝ事となり、來る十一月三日及五日には奉告勅使として、伊勢神宮に參向せらるゝ事となり、廿日親任式を行はさられました。

□舗宴御見合　昨今疫病流行の爲め、天長節當日豊明殿舗宴は御見合せの旨二十日仰出されました。

◎新年勅題と點者　明大正六年歌御會始御題は『遠山雪』と仰出され、點者は御歌所長子爵入江爲守氏に仰付られました。右につき一般人民よりの詠歌は一人一首十二月三十一日迄に規定の書式により宮內省御歌所に差出せばよいさうです。

◉墺首相暗殺さる　墺國首相カール、ステュエルク伯は、二十一日食事中、一新聞記者の爲めに射殺せられました。

●米大統領危難　米國大統領ウヰルソン氏がピッツバーグ市を自動車にて疾走中クッル(?)と名乘れる兇漢現はれ突如氏の自動車に飛び乘り、同氏に危害を加へんとして捕はれました。兇漢は常にウヰルソン氏の外交方針に不滿を抱いて居たものなりし由です。

●獨司令官負傷　獨逸陸軍參謀總長にして、最近に東部獨軍司令官に轉ぜる、ファルケンハイン將軍は東部戰線に於て負傷しました。

◉壯麗な獻上の御劍　先年今上陛下の御登極を奉祝すべき記念として、帝國陸軍々人よりの獻上御劍は愈々去る十五日出來致しました。同御劍の刀身は帝室技藝員月山貞五郎氏が、一世の腕を振ひしものにて双渡り二尺二寸五分、其の他の作裝は正倉院御物中の逸品の稱ある金銀裝の第二號の御劍を模し、金銀寶石を鏤めたる、近代に類例なき代表的藝術品の一つとも申すべき結構を極めたものです。

◉東京市の獻上品　立太子禮奉祝の爲め市にては時計付きの置物を獻上致す事となり、美術學校にて意匠考案中でありますが、右の時計は、時刻を報ずる時物陰にある、人物が忽然現はれて鈴を打つ仕掛けに致す筈の由です。

◉支那大儒逝く　支那の大儒として名聲ありし王闓運氏は二十一日湘覃の自宅に逝かれました。享年八十五。

◉上田博士の渡支　敎育其の他を視察の爲め支那へ出張仰せ付られた、東京帝大文科大學長上田萬年博士は、二十日朝東京驛發旅途に着かれました。博士は北支那から南支那を一巡して、今月一ぱいに歸朝さるゝ筈です。

◉澤柳博士小學校長となる　澤柳政太郎博士は、明春新に開校さるゝ私立成城小學校長に就任する事に決定致しました。氏は嘗ては京都及び東北帝國大學に總長たり、前文部次官たり現に帝國敎育會長貴族院議員の肩書を有する敎育界の元老として、今一小學校長たらんとするは我國に於ては稀有の事であります。

◉亞鉛板に圍れたる四日市　同市の鼠疫は益々蔓延し他所との交通も全く杜絕し、日を追うて市民は窮境に迫り、當局は極力防備を努め愈々全市の各町々に一萬枚の亞鉛板を張り廻し、以つて防鼠の一助たらしめんとして居ります。尙ほ目下出張中の北里博士の所説に從ひ、蚤をも買收して驅除を勵行する事に決しました。

◉福岡の俘虜移送　福岡に收容中の俘虜は今秋陛下行幸あらせらるゝに就き、習志野、名古屋、大阪青野ヶ原、大分の五ヶ所に移送する事になり旣に出發致しました。

◉文展の受賞發表　目下上野に開催中なる文部省美術展覽會の受賞者は審査の結果左の如く發表されました。

▲西洋畫

推薦　長原孝太郎
同　太田喜二郎
（特選の部）
田中館博士の肖像　中村彝
夏の內海（神戸）　金山平三
溪流に水浴　牧野虎雄
庭の木陰　大久保作次郎
葡萄の實る頃　辻永

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

收穫		齋藤與里
高原に働く人		大野隆徳
讀書の圖		柚木久太
積		關口隆嗣
御坂富士		黑田新
夕ぐれ	（朝鮮）	金觀鎬

▲日本畫

推薦	（京都）	菊池契月
同	（京都）	上村松園

（特選の部）

室ぎみ	（東京）	松岡映丘
寒山拾得	（京都）	橋本関雪
夕立	（東京）	池田輝方
未練の女	（京都）	西山翠嶂
阿彌陀	（京都）	村上華岳
山月四趣	（東京）	田中頼璋
埴輪	（京都）	都路華香
こぞのけふ	（東京）	池田蕉園
桃の里	（京都）	山下竹齋
竹生島	（京都）	川村曼舟
夕月	（東京）	池上秀畝
早春	（大阪）	水田竹圃
盗坊	（京都）	小村大雲
歌神	（東京）	結城素明
花合	（愛知）	川崎小虎
湖邊八題	（京都）	川北霞峰
翠芳鈔研	（東京）	平田松堂
島二一作	（京都）	小野竹橋

▲彫刻（特選）

晩鐘	（東京）	北村西望
絶望	（同）	建畠大夢
H老人の肖像	（同）	堀進二
闇の人々	（同）	小倉右一郎
川べにて	（同）	池田勇八

◉飛田遊廓取消運動 今春四月十五日認可した、大阪飛田遊廓敷地設定の取消運動は、其の効を奏しませんでした爲め、今回新内閣に依つて素志を貫徹せんと、二十一日大阪市婦人矯風會の一團約五百名は大久保知事を訪問陳情する所がありました。一方反對の氣勢を添ふる爲め婦人のみの一大演說會を開催し、十一月の府會開會と共に大に府當局と戰ふは勿論、來議會までには、貴衆兩院にも陳情する筈です。

◉新女齒科醫四名 本月三日より十四日まで東京にて擧行した、齒科醫術開業實地試驗及第者の內婦人にて及第した方は左の四名であります。

△片岡すい（茨城）△谷喜代子（東京）△稻田キク（岩手）△鈴木さき（宮城）

◉戊申倶樂部の發展計畫 鳩山春子女史等の組織して居る同倶樂部は、今後擴張して會員を二百名となし、今迄の如き慈善的方面の活動のみに止まらず生產的方面の研究をなし、婦人の職業紹介等も營む事になりました。

◉枝子の方重患 西本願寺前々法主故大谷光尊伯の裏方心光院枝子の方には、丹毒症にて去る十月頃より氣分勝れず、十八日より病勢頓に進み危篤なりと傳へられます。

◉兒童學會例會 二十三日午後六時より醫科大學法醫學教室に於て例會を開き、就學兒童と腺樣增殖症（居合鉦一郞氏）少年の勞働問題（高田愼吾氏）女學生の倫理觀と宗教觀（橫山雅男氏）の講演あり、何れも敎育者や親たる者の注意すべき大事な事柄でした。

女學校だより

△東京高等女學校 來る二十九日（雨天順延）同校庭に於て秋季大運動會を開催の由。

△東洋家政女學校 同校にては眞の自治制度を生徒間に實施する事となり、併せて田園趣味を養ふ爲めに、巢鴨附近に學校用地の畑を求め、生徒自身に耕作させるとの事です。

編輯室より

▲「婦人週報社」の表札はこの夏の嵐の一夜、何れへか見えなくなりました。街燈に社名が鮮やかに記されて居ることゝて、別に新しいものを拵らへずその儘にして置きましたが、矢島老刀自が美しい筆蹟を持たれて居るのを見て、急に揮毫していたゞき度くなり、八寸計りの柾目の板を持つて行きました。▲折柄飛田問題の爲大阪に發れやうとする多忙な刀自は、直ちに筆をとつて、趣深い字を書いて下さいました。一周年の回り來るけふ、永く記念したい表札の出來たのも、嬉しいことの一つです。▲いよ〳〵この號が一年の最終の號です。一回の休刊もなく至極健やかに號を追ふて發展して參りましたのは、只管に同情者諸氏の御援助による事と深くお禮を申し上げます、

十四

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調查、財產調查、男女學生品行調査、親裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、適切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）
人事相談所

婦人週報
（每週金曜發行）

定價表
△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金貳拾錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の內側）金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵劵代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行兼編輯印刷人　東京市京橋區銀座四丁目一番地　小橋三四子
印刷所　東京支店　東京市京橋區銀座四丁目一番地　福音印刷合資會社
發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人週報 自一巻一號 至二巻四十四號

索　引

□社説の部

我は雇兵に非ず……一ノ一
御大典に際して……一ノ二
寄生々活を脱して……一ノ三
動搖四十年……一ノ四
因襲と風俗……一ノ五
共鳴を覺ゆる劇中の婦人……一ノ六
歡樂禮祭……一ノ七
半世紀の收穫……一ノ八
大なる祈願……二ノ一
母の文庫……二ノ二
強者と弱者……二ノ三
教師か記者か……二ノ四
海外醜業婦取締られん……二ノ五
自給して勉强せんとする人々……二ノ六
わが娘に職業教育を授くべきか……二ノ七
物價騰貴の此頃……二ノ八
卒業から嫁入まで……二ノ九
感化出來ずに斷然措つべきか……二ノ一〇
六千萬人の浪費……二ノ一一
現今の少女氣質か……二ノ一二
日曜の午後……二ノ一三
子の遊學を見送る父の言葉……二ノ一四
病める社會……二ノ一五
公娼廢止と本誌……二ノ一六
途於に彷徨した我が國民……二ノ一七
良家庭の公開……二ノ一八
觀方の一轉化……二ノ一九
もし婦人會が數十萬圓を持つとしたら……二ノ二〇
改良運動の端緒と見る服裝展覧會……二ノ二一
都會と田舍……二ノ二二
改革の氣運に向へる愛國婦人會に就いて（上、中、下）……二ノ二三—二五
躁音餘りに高し……二ノ二六
婦人の理學士二名……二ノ二七
さまで誘惑に陷り易きか……二ノ二八
休暇も亦課程……二ノ二九
不信用な商人氣質……二ノ三〇
脆弱な日本婦人……二ノ三一
餘裕なき家庭生活……二ノ三二
冒險旅行の犧牲者……二ノ三三
都會人が田舍に蒔く風習……二ノ三四
教師を萬能視する弊……二ノ三五
婦人會の合同……二ノ三六
彩筆の手心……二ノ三七
貞操問題講演團成る……二ノ三八
衞生思想の活用……二ノ三九
人物の缺乏……二ノ四〇
私娼の行衞……二ノ四一
禁止されて居る婦人政談傍聽……二ノ四二
婦人の政談傍聽禁止につき丸山保安部長と語る……二ノ四三
同久保田内務次官と語る……二ノ四四

時事週評

▲弱者の奉祝同盟▲岩野氏の離別……一ノ一
▲七女史の叙勲▲恩赦と服喪▲女子禁制解除……一ノ二
▲ウイルソン氏の結婚▲在佛救護班不許列▲蒙古の御大典▲御慶事近し▲五節の舞姬▲參者の奉祝▲チャーチル出征▲英國と徵兵令……一ノ三
▲議會と婦人▲景氣の回復▲贈正一位▲英支同盟説▲革命黨の消息……一ノ四
▲皇后宮御慶事▲帝國議會開會▲九名の新男爵▲英支同盟の否認▲讀遇の損害高……一ノ五
▲澄宮御誕生▲ノーベル賞金▲革命黨討伐……一ノ六
▲皇后陛下の御乳▲議會の質問戰▲支那の帝制▲清子の離訴▲議界の人心……一ノ七
▲議會の紛擾▲未成年禁酒法案……一ノ八
▲平和の希望▲平和回復と婦人……二ノ一
▲御進講者決定▲貴書の選擇……二ノ二
▲露國大公の御入京▲村井氏の美擧▲新年の功勞者……二ノ三
▲光榮ある談道氏▲支那の帝ー不承認▲西洋婦人の意氣……二ノ四
▲政界の風雲▲首相と爆彈▲醫師團の拷問……二ノ五
▲羅馬法王の特使來▲政界の風雲小康▲雪を見す……二ノ六
▲加藤弘之男薨去▲簡易保險法案▲雪を見る……二ノ七
▲電燈談話値上……二ノ八
▲米國政府の通告▲電車値上の決定……二ノ九
▲日露同盟交渉▲可憐なる蘭斯爵夫人……二ノ一〇
▲議會終る……二ノ一一
▲露國皇太后逝く▲窟氏病く悟る▲妖怪調査の感実……二ノ一二
▲商船の臨檢▲米國の實法▲可憐なる高木德子……二ノ一二
▲飛行家の慘死▲日本品の不許可▲平和の曙光▲臨檢問題落著▲死骸と心中……二ノ一三
▲窮乏者の苦境▲販賣一日一億円▲女學校の卒業生……二ノ一四
▲二千五百年祭▲貴衆兩黨合同▲校長留任運動……二ノ一五
▲窟氏自殺す▲禁輸▲各政黨▲鳥人スミスの冒險▲著作品の相談の要説……二ノ一六

十五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲ヴ井ラ將軍殺害▲獨逸社會黨員狙擊▲今日此頃の花見▲小學生の双傷 二ノ一七
▲袁氏退位準備▲露軍佛國に上陸▲飛行界の刺戟▲育英資金と學生▲海外出稼女驅逐▲小倉孃の歸朝▲警官の兄妹心中 二ノ一八
▲愛蘭の暴動▲英軍降る▲日本譯の聖書▲出超六百七十萬圓▲小學生の慘死▲阪谷男の出發▲經濟調査會成る 二ノ一九
▲工場法の實施▲私娼撲滅の訓示 二ノ二〇
▲大浦氏の不起訴理由▲スミス氏の負傷 二ノ二一
▲爆彈事件の公判▲大相撲の教訓▲露國の新大使來る 二ノ二二
▲米國大統領と平和▲工場法實施延期▲北海道鐵道一千哩 二ノ二三
▲英獨大海戰▲三政黨首領會合▲タゴール氏入京▲スミス氏の功績▲袁總統死す 二ノ二四
▲袁氏と吉氏の訃▲三頭領の中合▲タゴール氏の講演▲ル氏の斷念 二ノ二五
▲米大統領候補▲黎氏の總統振▲帝國人口の現勢▲スミス氏の負傷▲暗殺組の死刑論 二ノ二六
▲淳宮御誕辰とお伽譚▲米獨關係▲死刑か無罪▲人造藍出づ▲ナイルス氏の墜死 二ノ二七
▲愈々行はれた電車値上▲劍號飛ぶ▲詩人と賣笑婦▲蝴蝶と被害 二ノ二八
▲日露協約成立▲不敬漢現はる▲米墨形勢緩和▲馬鹿らしい訴訟沙汰▲質問延期案 二ノ二九
▲陞授爵の恩命▲不老長壽論者逝く▲電車割引時間復舊陳情▲キャンベル氏夫妻の死▲光榮ある二人の女理學士 二ノ三〇
▲新支那公使▲露國外相更迭▲米國の海軍擴張▲澁澤男の退隱 二ノ三一
▲政界の雲行き▲愛蘭問題愈面倒となる▲直訴事件の責任者懲戒▲寫眞結婚の保護 二ノ三二
▲李王世子の御慶事▲工場法の公布▲花の日の私娼救濟▲小學生徒數の激增 二ノ三三
▲東久邇宮殿下の御壯擧▲女教員の增加▲基教主義の女子大學 二ノ三四
▲論功行賞と竹越氏▲東京市の水道問題▲赤十字社の暗鬪▲タ翁の講演 二ノ三五
▲上野博士の辯明書▲袁氏の本葬▲虎疫猖獗 二ノ三六
▲希臘王の退位▲移民婦人の教育▲婦人向きの發行物續々▲平穩な二百十日 二ノ三七
▲遺露宮御出發▲女子師範廢止の陳情▲蔣令孃の墜落▲川上貞奴の洋行 二ノ三八
▲立太子式御擧行▲彼岸贈答品廢止建議▲女中雇入れと健康診斷▲長井エルザ孃の結婚 二ノ三九
▲愈々實施される簡易保險▲家族の傳記出版▲『安全第一』の標語▲昨年以上の豐作 二ノ四〇
▲大隈内閣愈々總辭職か▲簡易保險の盛況▲タゴール氏の日本觀▲東京の虎疫總數 二ノ四一
▲新内閣成る▲公共に寄附金を投ずる美風▲在米印度人のタ翁迫害▲川上貞奴の渡航禁止▲特使宮の御歸京▲文展と女流作家▲最後 二ノ四二
の大擧傳道▲忘れられた最初の女流洋行者▲ペスト流行の徴 二ノ四三
▲皇后陛下女高師行啓▲澤柳博士小學校長となる▲戊申倶樂部の發展 二ノ四四

□談叢の部

新時代に處する婦人の資格（現代の名家十名の答）……一ノ一
婦人は何故進歩せぬか（廣岡淺子）……同
女と小說（德田秋聲）……同
無視された女の人格（森村市左衛門）同
婦人の獨立（麻生正藏）……一ノ二
頭腦の基礎を作れ（三谷民子）……同
人間を蝕する家處（安倍能成）……一ノ三
蒔いた種（目賀田逸子）……同
畫家の見た現代の女（池田蕉園森作湖仙）同
母親の遺傳と胎教（山内博士）……一ノ四
胎兒に對する母親の態度（西園寺新子）同
消化作用と精神作用（永井博士）……二ノ五
風俗改良團を起す議（澤田斬雲）……一ノ六
袿袴と洋裝（桑木博士）……一ノ七
婦人問題と教育（山脇玄）……一ノ八
智慧に目醒めよ（松本博士）……二ノ一
男女交際の注意（長井博士、網島佳吉、目賀田逸子）……二ノ二
幼稚園の兒童（安井哲子、内ヶ崎作三郎、岸本さし子）……二ノ
米國の女工……同
幼稚園から小學校に（久留島武彦、佐々木吉三郎）……二ノ四
家庭の野遊び（ガンドレット恒子、佐藤任天）……二ノ五
婦人の感化なき今の男子（津田梅子）二ノ六
男女教員の優劣（杉浦恂太郎）……二ノ六
他人の家庭か寄宿舍か（櫻井ちか子、平野濱子、二階堂さくよ子）……二ノ六
女は人生の鼓吹者（内ヶ崎作三郎）……二ノ八
雛祭りと子供（野口幽香子、片山國嘉、田中千代子）……二ノ九
男爵夫人の自殺（向軍治）……同
逆境に處する用意（中村吉藏、嘉悦孝子、日向きむ子）……二ノ一〇
夫妻の友情（成瀬仁藏）……同
高い物を買はぬ法（山脇博士、井村延子）二ノ一一
個人主義か家族主義か（有馬純清）……二ノ一二
婦人と天職の自覺（矢島楫子、羽仁もと子、吉岡彌生）……二ノ一三
男學生の遊學と品行問題（安部磯雄、廣岡淺子、鎌田榮吉、棚橋一郎）……二ノ一四
時勢に後れぬ用意（鳩山春子、麻生正藏、田中芳子）……二ノ一五
花見風俗（幸田露伴、目賀田逸子）……二ノ一六
無駄の多い日本の會（下田次郎）……同
男子と婦人問題（原口竹次郎）……二ノ一七
漸く光明に向へる婦人（奥田博士）……二ノ一八
青年の危機と指導者（高島平三郎、佐藤任天、淺田みか子）……同
玩具の撰び方（倉橋惣三）……同
家庭に臨む私の理想（島田三郎）……二ノ一九
十八世紀の歐米に似た女子教育の現狀（山脇博士）……二ノ二〇
婦人に關係の深い工場法の實施（岡實）二ノ二一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

タゴール氏の思想（安倍能成）……二ノ二二
簡易田園生活（目賀田男爵）……二ノ二三
生物學上より見たる貞操の德（永井博士）……二ノ二四
夏の自然（岡田博士、山內博士、高村光太郎、戶川殘花、石川千代松、鈴木皷村）二ノ二五—二六
野に山に海に（武林無想庵、有島生馬、前田默鳳）……二ノ二七
最近發明された人造藍（丹羽博士）……同
結婚生活（宮田脩）……二ノ二八
神經質の兒童敎育（三田谷啓）……同
誤解されたるエレンケー女史（本間久雄）……二ノ二九
夏期休暇の利用（三輪田元道）……二ノ三〇
エレンケーの戀愛觀と貞操觀（本間久雄）……同
職業は神聖（山脇博士）……二ノ三一
怠け者は居らぬ米國婦人界の現狀（ミス、エマアツン）……二ノ三一
新天地開拓の爲め海外に婦人の出現を待つ（久留島武彥）……同
佛蘭西の旅にて會つた婦人 上、下（島崎藤村）……二ノ三一—三二
書棚の貧弱な日本の家庭（內田魯庵）二ノ三四
エレンケーの自由離婚說（本間久雄）同
偶感（安倍能成）……二ノ三五
エレンケーの母性論（本間久雄）……同
婦人の一大弱點（原口竹次郎）……二ノ三六
婦人運動の二派（高野重三）……同
變り行く家庭制度の內容 上、中、下（山脇博士）……二ノ三七—三九
二人の力の充實（廣岡淺子）……二ノ三八
我が國婦人の進步の障害は何？（麻生正藏、內ケ崎作三郎、安井哲子）……二ノ四〇
今は全く女の國（ラモート夫人）……同
頭腦的發展と女性（金子筑水）……二ノ四二
劇評をさせる米國の女學校（岩澤時子）同
中流婦人の內職（山脇博士）……二ノ四三
繪を見る人の爲めに（高村光太郎）……同
女生徒の倫理觀と宗敎觀（橫山雅男）二ノ四四
嫡出子の權利（尾崎行雄）……同

□名士と其の母

尾崎行雄（二ノ一一）
松本亦太郎（二ノ一三）
森林太郎（二ノ一五）
德田秋聲（二ノ一七）
高田早苗（二ノ一九）
鈴木貫太郎（二ノ二一）
竹越與三郎（二ノ二四）
澁澤榮一（二ノ二七）
德富猪一郎（二ノ三一）
巖谷小波（二ノ三四）
島田三郎（二ノ一二）
山室軍平（二ノ一四）
山川健次郎（二ノ一六）
久留島武彥（二ノ一八）
高島平三郎（二ノ二〇）
三宅雄次郎（二ノ二二）
成瀨仁藏（二ノ二六）
澤柳政太郎（二ノ二八）
高田畊安（二ノ三三）

□一人一評

日向きむ子（一ノ一一）
津田梅子（一ノ一三）
吉岡彌生（一ノ一五）
安井哲子（一ノ一七）
下田歌子（二ノ一）
三宅龍子（二ノ三）
山脇房子（二ノ五）
與謝野晶子（二ノ七）
廣岡淺子（二ノ九）
田村俊子（二ノ一一）
大江壽美子（二ノ一三）
野口幽香子（二ノ一五）
國木田治子（二ノ一七）
三谷民子（二ノ一九）
賴母木こま子（二ノ二一）
池田蕉園（二ノ二三）
尾崎テオドラ（二ノ二五）
西園寺新子（二ノ二八）
逝ける山室機惠子女史（二ノ三〇）
矢島楫子（一ノ一二）
成瀨仁藏（一ノ一四）
幸田延子（一ノ一六）
嘉悅孝子（一ノ一八）
鳩山春子（二ノ二）
目賀田逸子（二ノ四）
佐藤靜子（二ノ六）
竹越竹代子（二ノ八）
牧野みね子（二ノ一〇）
箕浦富士子（二ノ一二）
巖谷勇子（二ノ一四）
大隈綾子（二ノ一六）
跡見花蹊（二ノ一八）
佐方しづ子（二ノ二〇）
入澤常子（二ノ二二）
小久保政子（二ノ二四）
佐々木雪子（二ノ二七）
寺內瀧子（二ノ二九）
加藤春路子（二ノ三一）
棚橋絢子（二ノ三二）
長谷川時雨（二ノ三四）
井上末子（二ノ三六）
本野久子（二ノ三八）
弘田由己子（二ノ四一）
上村松園（二ノ四四）
鍋島榮子（二ノ三三）
原淺子（二ノ三五）
犬養千代子（二ノ三七）
田川幾世子（二ノ四〇）
山縣貞子（二ノ四二）

□社會の部

文豪國木田獨步の先妻と其の娘（晃）……一ノ一
今後の岩野淸子……同
年上の女との結婚が殖る……同
婦人自活の途「裁縫の仕事」……同
小猿女史天來の筆……一ノ二
命令一下勵行せよ（薄田斬雲）……同
女囚の生活……同
文展に現れた閨秀作家（長吉）……同
迷兒と棄兒……同
婦人自活の途「ミシン刺繡」……同
女湯改良論（幸田露伴、矢島揖子外二名）一ノ三
女店主……同
廢娼問題の歸趨「公娼から私娼へ」（雲舟生、油谷治郎七）……同
泥水から……同
婦人自活の途「電話交換手」……同
湖水に投身して復活せる女（一）……同
四十年前の女學生（穗積銀子、木村貞子、鳩山春子、佐方鎭子）……一ノ四
大典の後（山脇房子）……同
湖水に投身して復活せる女（二）……同
婦人自活の途「產婆」……同
小兒の死亡（一）（二階堂內閣統計官）……一ノ五
日當四十錢（晃南生）……同
棄てられたアイヌ（三四子）……一ノ六
家庭に於ける森村翁……同
小兒の死亡（二）（二階堂內閣統計官）……同
年末の慈善（目賀田逸子、根本さく子、矢

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

吹辛太郎）……一ノ七
女湯改良論所感（廣岡浅子）……同
平和會議と婦人大會……同
小兒の死亡（三）（二階堂內閣統計官）……同
東京と大阪の氣風轉倒（沖野筆子）……同
今年中の婦人の讀書……同
東京市民の結婚と離婚……同
德富蘇峰氏の愛孃の發心……二一一
風俗改良團の事業（薄田斬雲）……二ノ一三
運命に弄ばれた象山の娃（一）……同
宮中へ初參內……二ノ二
モンテッソリー女史と語る（岸邊福雄）……同
運命に弄ばれた象山の娃（二）……同
大隈首相夫人の煩ひ……二ノ三
禁酒の母亡き安藤夫人……同
淺草六區改善されん……二ノ四
健氣な少女……同
奥樣の傳記出版「村井吉兵衛氏の美擧」……二ノ五
火事場に飛び込んで「久留島夫人の働き」……同
女學生の經費調べ（佐藤任天、外各高女及び專門學校）……二ノ六
良人の學資を稼ぎて成功させたる……同
齒科醫の妻……同
國民的音樂の缺乏（久留島武彦）……同
巖谷邸の春遊會……二一七
店頭より（一）（靜美堂主人）……同
店頭より（二）……二ノ八
寄宿舍の献立調べ（秋積割烹女學校長、櫻井女塾、女子青年會寄宿舍、女子美術學校、女醫學校、女子高師、女子大學）……同
帝國ホテルの料理場を觀る……二ノ九
燒き繪を描くお孃さん……二ノ一〇
南洋の家より（高月千代子）……二ノ一一
發つた卒業生……二ノ一二
優等生と其の家庭……二ノ一三

池田蕉園女史の美擧……二ノ一四
海の博覽會……同
建氣なる內藤子爵令孃……二ノ一五
今年の卒業生と就職口……同
店頭より（三）（靜美堂主人）……二ノ一六
我が「婦人會」の現況……同
飛行家になる迄（アート、スミス）……二ノ一七
貧しき子等の保姆（久野恭子）……同
櫻を慕ひ來し米國女詩人の死……二ノ一八
床しき追悼の企て……二ノ一九
花菖蒲匂ふ宿……二ノ二〇
青葉かをる畫室に響く鑿の音……二ノ二一
樂劇『昇る旭』を見て……同
新案服裝展覽會……同
滿洲名物上下（白井生）……二ノ二一ー二二
廓より尼寺に（上下）……二ノ二二ー二三
二萬圓の借財を女手一つに返した
今井慶松氏の[illegible]堂……二ノ二三
受賞の改良服裝……同
東京だより……二ノ二四
舞扇の哀史上、下……二ノ二四ー二五
大觀氏邸のタゴール翁……二ノ二五
百折不撓のたまもの……同
幸田女史を訪ふ……二ノ二六
詩を見るやうな兄妹の睦み……同
小盜爾市場上、下（白井生）……二ノ二七ー二八
人形病院に入院させに行く記……二ノ二八
幼兒の群を見て復活した女上、下……二ノ二八ー二九
女乞食（白井生）……二ノ二九
隱れたる孤兒の母 上、中、下……二ノ三〇ー三二
白衣の天使上、下……二ノ三三ー三四
墓畔の佳人……二ノ三五
藝術に固く結ばれし二人の女……二ノ三六
夏の滿洲（白井生）……同
ピヤニストと呼ぶ狂女と語る……二ノ三七
凋める花の命……二ノ三八
古切手を美術化する紅木屋の老刀自……二ノ三九
家の因緣（井上圓了博士）……二ノ四〇
汚れた女の救ひの母……同
殖民地生活と趣味（白井生）……同
アンナ、カレニナの須磨子と孔雀……二ノ四一
赤ん坊展覽會……同
部の最中で鈴虫を飼ふ老刀自……二ノ四二
物語のやうな生涯……二ノ四三
ペストの癒つた花嫁の今日此頃……二ノ四四

□家庭の部

▲養生法の自然主義（薄田斬雲）▲五百圓內外の婚禮着見積表（菅野田鶴子）▲初冬と子供▲實益ある平常着▲わきがの療法（片山醫學士）……一ノ一
▲御大典當日の獻立……同
▲主婦の手帳……一ー七
▲胃腸病者としての余が養生法（薄田斬雲）……一ノ二四
▲家庭園藝叢談（千葉晚香）
▲料理の主眼（萬源主人）▲冬仕度三種▲御大典奉祝用菊花獻立（萬源主人）▲床の間の飾方（村岡應東）▲料理と鰹節▲瓦斯の經濟（近藤耕藏）……一ー三
▲子供と吸入
▲醫者とくすり（丹羽藥學博士）▲鍋料理（萬源主人）……一ノ三
▲婦人の防寒具（嘉代）
▲家庭小言（雲舟生）……一ノ四
▲生きた鷄卵と死んだ鷄卵（松濤園主）……一ノ四、五
▲クリスマスの贈物▲火の用心▲寒い時の皮膚の注意（小口みち子）▲お正月の仕度……一ノ五、六
▲正月の料理▲迎年準備の早手まわし（田中芳子）▲書類の整理▲暮に賣れ行く草花（千葉晚香）……一ノ五
▲紅い林檎と青い林檎（薄田斬雲）▲室內の遊戲（木內愛子）▲一と鋏の天國と地獄……一ノ六
▲奥床しい正月の御飾（小山正太郎）▲冬休と子供（松下專吉）▲種々な物を喰へ（薄田斬雲）……一ノ七
▲冬と急性肺炎（ドクトル有田九皐）▲正月のおにしめ
▲余が養生法（薄田斬雲）▲家庭の園藝（千葉晚香）……一ノ八
▲着物の配合（菅野田鶴子）……二ノ一ー五
▲家庭小言（雲舟生）▲一枚の樣に見える重着仕立方（坂井ふさ子）▲サラダの造り方（手塚かね子）……二ノ二
……二ノ三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲恰好なよく着付をする人の仕立方（坂井ふさ子）　二ノ四
▲今週の惣菜（櫻井ちか子）　同四―六
▲母に缺けた此の知識（大村幹）▲小兒の中耳炎（幾子）▲玩具の消毒▲食料の標準　二ノ五
▲滋養物とは何ぞ（薄田斬雲）▲中學に受驗する子供の爲めに（麻生永子）▲齒と腦（富田ドクトル）　二ノ六
▲神經質の素因（薄田斬雲）▲暖い陽氣と化粧（小口みち子）▲美味しい五目壽司（櫻井ちか子）　二ノ七
▲何が自分の身體に適するか（薄田斬雲）▲人々の化粧の仕方（小口みち子）▲今年の流行▲今週の惣菜（櫻井ちか子）　二ノ八
▲入浴と散歩（薄田斬雲）▲子供の咳の手當（唐澤醫學博士）▲春の裝ひ（牛澤千枝子）▲甘酒の作り方▲雛の馳走（櫻井ちか子）　二ノ九
▲魚肉の脂肪とサッカリンと（薄田斬雲）▲學校行きの準備（川口華子）▲履物の掃除（くれは子）　二ノ一〇
▲今週の惣菜（櫻井ちか子）▲春季の草花（千葉晩香）　二ノ10、二
▲子供連れの客の心得（川口華子）▲風を引いた場合の素人療法の數々（薄田斬雲）　二ノ一一
▲一燭光の電燈（近藤耕藏）▲卸値と小賣▲春先の洋傘の手入（くれ羽）　二ノ一二
▲入學に先つて（杉浦誠之小學校長）▲子供のジフテリヤに罹つた時（大村薫子）▲春野の小草　二ノ一三
▲今週の惣菜（櫻井ちか子）　二ノ一三―一八
▲寢ると熱く起ると寒い（薄田斬雲）▲田舍の臺所から（くれは）▲八百屋物の卸値と小賣　二ノ一四
▲髮の毛の手入れ（遠藤はつ子）▲リューマチスの療法（けい子）▲食物の三選（尾崎法相談）　二ノ一五
▲子供の描く繪（田中芳子）　二ノ一六
▲簡單な趣味の考案（薄田斬雲）▲田舍の臺所から（くれは）▲晩春の流行▲無錢療法（某醫師談）　二ノ一七
▲端午の節句と子供（野口幽香子）▲衣食住に於ける汚ないと云ふ事（薄田斬雲）▲金魚の飼方（千葉晩香）▲端午の節句菓子（櫻井ちか子）　二ノ一八
▲玩具の撰み方（倉橋惣三）▲ミシンでする日本服の裁ち方▲今週の惣菜（櫻井ちか子）　二ノ一九
▲金魚の飼ひ方（千葉晩香）　二ノ一九―二三
▲大人の玩具、大人の遊戯（薄田斬雲）▲朝餐の卓に（櫻井ちか子）　二ノ二〇
▲世界共通の競技は何か（薄田斬雲）▲今週の惣菜（櫻井ちか子）▲迷兒にした經驗（吳羽）　二ノ二一
▲弓術の奬勵（斬雲）▲壹圓で四人のお客を招く時（櫻井ちか子）　二ノ二二
▲入梅が近付きました（吉岡彌生）▲反齒の原因（吳羽）▲今週の惣菜（櫻井ちか子）▲單衣によい地質（菅野田鶴子）　二ノ二三
▲婦人の護身術（斬雲）▲雨の日の子供（川口華子）▲八重齒（吳羽）▲今週の惣菜（櫻井ちか子）　二ノ二四
▲學校に於ける父兄會（斬雲）▲夏の化粧（遠藤はつ子）▲今週の惣菜（櫻井ちか子）　二ノ二五
▲夏凌ぎ法（斬雲）　二ノ二六―二七
▲避暑地に携帶した臺所用具（川口華子）▲今週の惣菜（櫻井ちか子）　二ノ二六
▲兒童の神經質（三田谷啓）▲暑い日の客心地▲漬物數寄（櫻井ちか子）▲墨の汚點拔　二ノ二七
▲神經質の兒童の教育（三田谷啓）▲氷入らずの冷藏庫（神谷信子）▲手輕なパンの作り方（櫻井ちか子）　二ノ二八
▲回復期の養生法（斬雲）▲簡易な洋服の縫ひ方▲今週の惣菜（櫻井ちか子）　二ノ二九
▲夏は果實の時代（斬雲）▲小兒の犯され易い胃腸病（瀨川醫學博士）▲海水浴の注意（村松石子）▲寢冷え知らず（吳羽）▲淡泊な精進料理（櫻井ちか子）　二ノ三〇
▲帽子と衞生（斬雲）▲食傷の手當（前田園子）▲水が惡い時（村松石子）▲今週の惣菜（櫻井ちか子）　二ノ三一
▲洗濯のしかた（河口愛子）▲避暑地先で出來る野菜（千葉晩香）▲野菜の料理（櫻井ちか子）　二ノ三二
▲變り物の洗ひ方（河口愛子）▲海の料理（櫻井ちか子）　二ノ三三
▲初秋の投入花（安達潮花）　二ノ三三―三五
▲溫浴と冷浴（斬雲）▲今週の惣菜（櫻井ちか子）　二ノ三四
▲素人の出來る染物の仕方（若原榮代）　二ノ三五―三六
▲頭腦をよくするマッサージの試み（藤井かう子）▲お壽司の拵へ方（櫻井ちか子）　二ノ三五
▲秋晴れが蟲干に最もよい（河口愛子）▲小兒の胃腸病の恢復期の食物（吳羽）　二ノ三六
▲我儘の子供（三田谷啓）▲コレラの豫防と調理の注意（安藤凝光）▲觀月の夜の盛花（安達潮花）▲我が家の經濟料理（ガンドレット恒子）▲不健康者の遊樂（斬雲）　二ノ三七
▲齲齒を言ふ小供（三田谷啓）▲虎疫を豫防する調理の二三（櫻井ちか子）　二ノ三八
▲病難を輕くする流動體の食物（八重子）
▲虎列拉退治（斬雲）▲衞生料理（櫻井ちか子）　二ノ三八―三九
▲病氣を重らせぬ用意（藤井かう子）　二ノ三九
▲早食癖のこども（三田谷啓）▲今秋の流行▲此頃の惣菜▲所謂食合せと云ふ事（斬雲）　二ノ四〇
▲いかもの食ひ（斬雲）　二ノ四一―四三
▲辨當の菜に（手塚かれ子）▲濕った日の戸障子の開閉（藤井かう子）　二ノ四一
▲臺所設備に改良したき點（古橋柳太郎）▲辨當の菜に（手塚かれ子）　二ノ四二
▲忘られ易い嬰兒の衞生（藤井かう子）▲入選した赤ん坊と母親の養生法▲秋の馳走（櫻井ちか子）　二ノ四三
▲立太子式の日の家庭小宴の卓上及び其の日の献立（櫻井ちか子）▲頭腦の經濟法（薄田斬雲）　二ノ四四

□文藝之部

小說

奴隸（松本雲舟）……………… 一ノ一―八
ナターサン（阪東みちゑ）…… ……一ノ七―八
何處へゆく（松本雲舟）………… 二ノ一一―一六
窮鳥（同）……………………… 二ノ一六―一八
地下室の窓から（トルストイ原作、松本雲舟譯）……… ……二ノ一九―二四
妻（阪東みちゑ）……………… 二ノ二五―二九
孃ちやん（阪東みちゑ）……… 二ノ三〇―三六
貪婪者アイネの危機（アイネ記）二ノ三七―四〇
古池のほとり（廣田花崖）…… 二ノ四一―四三

短歌

▲午後三時「安中花子」（二ノ五）▲平行線（二ノ六）▲甲斐の家（二ノ七）▲つぼみ（二ノ八）▲夢（二ノ九）▲かにかくに（二ノ一〇）▲聖者（二ノ一一）▲若くして（二ノ一三）▲靜かに歌へる（二ノ一四）▲くれなゐ（二ノ一五）▲きみ（二ノ一六）▲骨肉（二ノ一九）▲脊（二ノ二一）▲夏（二ノ二二）▲富士（二ノ二三）▲つかれ（二ノ二四）▲狂（二ノ二六）▲まもり札（二ノ二七）▲ひなげし（二ノ二八）▲花うらない（二ノ二九）▲流星（二ノ三〇）▲異國の人（二ノ三一）▲みなし子（二ノ三三）▲靜寂（二ノ三四）▲ほゝゑみの楯（二ノ三六）▲二十年（二ノ三七）▲秋（二ノ三九）▲この頃（二ノ四一）▲火と血（二ノ四二）▲理智（二ノ四三）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

芝居の女

「一つ家のあさぢ」(大村嘉代子) ……… 一ノ一
「世間の寅子」(同) ……… 一ノ二
芝居の女から(江戸屋主人) ……… 二ノ九、一〇

世界名女傳

「エリオット」(二ノ一―三)▲「マリアテレサ」(二ノ四、五)▲「ユーゴの母」(二ノ五―七)▲「スタウ夫人」(二ノ八、九)▲「ウオズオズの妹」(二ノ一二、一三)▲「ブルータスの妻」(二ノ一五)▲「ブラウニング夫人」(二ノ一六、一七)

□雜の部

深窓の佳人(薄田斬雲) 一ノ三
寄生論(シユライネルから、雲舟生) 一ノ四―六
五重塔(臼井晃南) 一ノ五
クリスマス(各所のクリスマス所感) 一ノ七
年越の苦勞(七名の話) 一ノ八
新年述懷(十二名流夫人の答)▲種々なお正月(各地方の風習) 二ノ一
梅(村岡應東) 二ノ四
迷子の話(村尾節三) 二ノ八
今年のお雛さま(京子) 二ノ九
春の女 栗原玉葉 二ノ九、一〇
田中芳子様にお答します(向軍治) 二ノ一一
英國への一人旅(白菊女) 二ノ一二―五
店頭より(靜美堂主人)▲今年の五月幟 二ノ一六
女なる事を感謝する點(現代名家十數名) 二ノ一九
病雛錄(てい子) 二ノ二〇―二四
眞の婦人が男子の傍に立つ時 二ノ二二
德川時代に洋行した女上、下(廣田花崖) 二ノ二六―二七
孟蘭盆(幸田露伴) 二ノ二九
文字の上から見た女上、下(廣田花崖) 二ノ三〇―三一
涼しいお庭巡り▲年中絶えぬ日本人の花見(安中花子譯)▲水泳の初經驗▲久しぶりの故鄕より(斬雲) 二ノ三二
都の人の田園生活▲都會と田園(斬雲) 二ノ三三
日本アルプスへの攀登(大橋繁子)▲夕顔棚の下涼み(廣田花崖) 二ノ三四
外人の見た日本の女中(一外國婦人)▲根本的美顏術(廣田花崖)▲金が有つたら私でも達者になれる(薄田斬雲) 二ノ三五
秋の七草(廣田花崖)▲早寐は三文の得(薄田斬雲) 二ノ三六
近く來朝の噂あるゴーリキー氏(森山正)▲月の下にて(廣田花崖) 二ノ三七
▲別莊相場(淺田みか子)▲秋の末迄虫を飼ふ法▲東北人の鼻聲(薄田斬雲) 二ノ三八
烈婦崇拜を排す(廣田花崖)▲子供の劇的生活(久留島武彦) 二ノ三九
菊を見る人のために上、下(花崖) 二ノ四一―四二
私の見たアンナ・カレニナ(T子) 二ノ四二
T子さまに(民子) 二ノ四三

□子供欄の部

オハナシ

生命の水(巣鴨村人) 一ノ一―四
偉い人と小島(同) 一ノ五
笛(同) 一ノ六
少年と猿(同) 一ノ七
こそ〳〵話(同) 一ノ八
正直の德(同) 二ノ一
大將と狐(同) 二ノ二
ポプラの決心(あづま) 二ノ四
小さい汽鑵車(同) 二ノ五
牢屋の天女(綾羽) 二ノ六
伊那の笹原(同) 二ノ七
シッシヤ人の謎(斬雲) 二ノ八
西洋の楠公(同) 二ノ九
トロイの合戰木馬の計略(同) 二ノ一〇
アライオン海豚に救はる(同) 二ノ一一―一二
埃及王の獅子狩り(同) 二ノ一三
ヒオニヤの娘(同) 二ノ一四
金毛の盾(同) 二ノ一五
アスパラガスの報恩(同) 二ノ一六
希臘の七賢人(同) 二ノ一七
ハンニバル橋抜きの妙計(同) 二ノ一八
賢人の問答(斬雲) 二ノ一九
一番幸福な人(同) 二ノ二〇
天下最も不幸の人(同) 二ノ二一―二三
狼と山羊(たか子) 二ノ二四―二六
四人家來(同) 二ノ二八―三〇
風の神の失敗(花崖) 二ノ三一
太郎と苹果(同) 二ノ三二
猫と鼠(たか子) 二ノ三三―三五
奴隸と獅子(花崖) 二ノ三六
子寶(同) 二ノ三七
まごゝろ(同) 二ノ三九
虹の花(恭子) 二ノ四〇―四一
忘れな草(同) 二ノ四二―四三

子供の智

動物園へお嫁に 一ノ一
私を造つた方 一ノ二
忘れちまつて▲言葉の應用 一ノ三
齒磨粉を顔に塗る▲御馳走をたたくちやん 一ノ四
子供の宗教心 一ノ五
袴をはいて▲學校の眼鏡 一ノ六
膨れたかき餅▲蜘蛛の父さん 一ノ七
子供の同情心▲早くそのあさを▲ゴミトリ見たい 一ノ八
生命を拾ひに▲ランプを知らぬ▲アンヨがパア 二ノ一
寢かしつける▲眼が寒い 二ノ二
蜆を播く 二ノ三
輪ハかキの樣だ▲光つた銀貨▲電車で火事が來た▲上つても下つても 二ノ四
戸籍調べに謝罪る▲お目ざは夜中に 二ノ五
分り切つた事を聞く▲紙鳶を揚げ乍ら 二ノ六
長持とおかちん▲これもUさん▲お父さんは田舎者 二ノ八
何處ぢや〳〵のおさゝ▲あんよを見イ▲僕は行かないで 二ノ九
どれが一番曲つて居るか 二ノ一四
パパ飴ちよこあげやう▲天子樣は金を召上る 二ノ一六
灰を撒けば花が咲く▲小さい共鳴 二ノ一八
洋傘の謎 二ノ一九
語の應用▲鯉の齒を入れ齒に 二ノ二〇
盗まれた安全かみそり▲小さくても英語が出來る 二ノ二一
龍雛さんのお伽新聞 二ノ二二
お葬式のお香物▲新聞はさうして讀むもの 二ノ二六
算術のおさらひ 二ノ二九
あれさまの家族▲顔を洗ふ花王石鹸 二ノ三一
朝顔の花の蓄音機▲面白い話とは 二ノ三三
電話口での喧嘩 二ノ三四
丸ごと死ぬなら 二ノ三五
こんにやくと思つて▲心つて何 二ノ三八

□挿畫

▲束髪の將來「浩一路」(一ノ一)▲走つて見える女(一ノ二)▲京都の娘氣質(一ノ三)▲金魚の行列(一ノ四)▲僞りの化粧用具(一ノ五)▲襟巻と丁稚(一ノ六)▲婦人の七不思議(一ノ八)▲初春「池田蕉園」(二ノ一)▲お正月の髪「浩一路」(二ノ二)▲お化粧樣(二ノ三)▲乘つた時と降りた時(二ノ四)▲月瀬所見「村岡應東」(二ノ五)▲うらゝか「森作湖仙」(二ノ六)▲東京と大阪の襟巻「浩一路」(二ノ七)▲お人形さん「栗原玉葉」(二ノ一〇)▲富士裾野の女學生「浩一路」(二ノ三七)▲山家の顔見せ(二ノ三八)▲女學生の栗拾ひ(二ノ三九)▲念佛女學校(二ノ四〇)▲寄宿生活の玉手箱(二ノ四二)▲文展の一人ぼつち(二ノ四三)

外に時事、編輯だより等毎號掲載

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭衛生講習會

一、目的　家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す

一、場所　赤坂區新町三丁目四十六番地　婦人矯風會本部内

一、期間　自毎月十六日至次月十五日　月水金　午後二時より四時迄

一、講習料　金十圓也(前納の事)

一、人員　十名を以て定員とす

一、證書　講習修了者には修了證書を交付す
　職業として更らに研究し度き方は以後二年間當所に於て實地研究(無料)を積まるれば出願の履歴書に證明を與ふ

一、特典　講習修了者は會員として随意に傍聴又は研究する事を得

一、主催　婦人矯風會東京部會

一、講習主任　醫師藤井孝

右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部に申込まれたし

高木鋒子考案

鳩印安全下着

子供用 カンビネーション　大六十錢　中五十五錢　小四十錢

大人用　大五十錢　小四十五錢

型紙何れも五十錢

ピーナツトバター　一罐　四十錢

婦人週報社代理部
振替東京三一六六〇番

肝油服用者之福音

富谷　肝油球(カンユータマ)

三百粒入　壹圓
百粒入　七十錢
五十粒入　四十錢
送料各八錢

最新式の軟質膠球劑絶對に臭氣もなく美味に飲めるは此肝油球である

諸大家の賞讃

肝油球の特効

身體の弱き人
かぜ引き易き人
腺病の人
夜盲の人
冷え性の婦人
肺の悪しき人
貧血にて艶のなき人
油氣の少ない人

發賣元　東京市赤坂區田町五ノ二
工場　東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師　富谷宗吉藥局
電話芝六二一八〇番
振替東京七〇八一〇番

——體力精力増進に今が肝油服用時期——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及（木）午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町六二番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど**新調**同樣になります

和洋服 **外套インバ** 東コート **ネル・セル・ショール** **半襟毛皮**等のクリーニング

○局部シミヌキと染色を**丁寧親切**迅速に致します

○御一報次第參上

各國大公使館
帝國ホテル御用

日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際
電話新橋三一〇八

古本**高價**に**買受**ます
御一報次第何時にても參上します
牛込區早稻田鶴巻町百十一

文學堂書店

電話呼出番町九四一

産科、婦人科、小兒科

東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫 井出茂代
電話番町三六七七番

内科 小兒科

第一家庭病院

院長 醫學士 加用信憲
牛込區矢來町二十四番地
（電話番町二八〇二）
（入院隨時）

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

電話番町二三五七

料理講習會

會席料理	毎週土曜日午前中	會費一回卅五錢	束修五十錢
西洋料理	毎週月、金午前中	會費一回五十錢	束修五十錢（主として主婦の爲）

外に主婦以外の婦人の爲
毎週水曜午前中開催
會費一回五十錢束修五十錢

本郷區彌生町三番地
電話下谷六八一五番

櫻井女塾

生徒募集

裁縫。刺繍。造花。編物。袋物。摘み細工。綿細工。壜細工。縫細工。儀式用折紙。水引結方。
（以上短期卒業）

（東京市麹町區靖國神社右横）

私立 **大妻技藝學校**

（舊名）大妻技藝傳習所

其他別科生は月謝免除、材料貸與。二科目選定。三ヶ年卒業。二學年生より製作品に對しては工賃を支給す。卒業の上は教師として採用又は紹介す。（詳細は規則書郵券二錢を要す）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御注文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

上品で役に立つ理想的の婦人雜誌

十一月號內容でも外觀でも他に類のない雜誌

本月も賣り切れぬ内今スグ御求めあれ

婦人雜誌

既に出來 各書店にあり

◎結婚される婦人へ……法學博士 浮田和民
◎自由結婚の今昔……文學博士 佐々醒雪 ◎結婚の奇習奇俗……
◎結婚の儀式に保存したき點……文學博士 幸田露伴 ◎結婚の調度品（寫眞版）……
◎經濟より觀たる結婚問題……婦人雜誌主筆 山田延彌
◎私の實驗したる結婚から……長井博士 ◎貞松千歳……記者
◎宗教上から觀たる結婚の眞意義……近角常觀 ◎秋の海岸に立ちて……文學士 小林愛雄詩 浮田柳吉曲
◎家庭の婦人を社會的に働かしめよ……日本女子大學校學監 麻生正藏
◎夫婦別居の問題……文學士 小林愛雄 ◎展覽會（插畫）……スミカズ
◎よくある家庭不和の原因……櫻井ちか子 ◎獨逸婦人の側面觀……マスター、オブ、アーツ 千葉鑛藏
◎結婚前の注意と結婚後の警戒……醫學博士 冨士政一
◎文曆（十一月）……水野葉舟 ◎（家庭）茶目家雜……文學士 高木敏雄
◎（童話）凋みゆくダリアの花……鈴蘭女 ◎醒めたる女……加藤みどり
◎日本の女神と希臘の女神……明子 ◎大阪音樂會の中心……大阪 西村齊
◎心の美容法……成瀬慶子 ◎婚禮の身裝……一記者
◎（小長篇論）彼女の一生……田村俊子
◎短篇小說……山田たづ子＝短文、長詩、和歌、俳句等
◎洋式婦人會話と作法……S. Kusaka ◎豫算の立て方……井上秀子 ◎十一月の客膳……手塚かね子 ◎投入花の入れ方……清風古流京都家元師範 久野連峯 ◎流行の銘仙……たみ子 ◎心の美容法……成瀬慶子 ◎毛髮に對する注意……たみ子 ◎新祝ひ謡「淡路結び」……記者 ◎スグ間に合ふ刺繡獨稽古……大野美光 ◎足袋の手入れ……女記者 □其の他 △コドモノレウブン △行儀の善い惡い △文展の花 △スケッチ △おとづれ △紹介 △編輯だより等

發兌 東京市神田區駿河臺鈴木町 **婦人雜誌社** 電話本局 三一一八五番 振替東京 三三一六〇番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA